

7月度土曜例会（2017年07月15日）

タイトル；「私の見た日本」 講演者；グエン・タイン・ビン

「私の見た日本」

桜並木はまるで天国！

グエン・タイン・ビンさん(ベトナム)

今回のゲスト・スピーカーはベトナムからの大学生、グエン・タイン・ビンさん。日本の自然、日本人の考え方などを知りたい、と昨年9月から大阪大学で日本文化を勉強中です。スピーチのタイトルは、ベトナムの紹介ではなく、「私の見た日本」。桜並木、紅葉など色鮮やかな自然の美しさとその楽しみ方、ハイテクを使わなくてもバスの時間が正確なことなどは「日本人ならではの」と感心しています。現在のベトナム人の生き方は、厳しい環境の泥田の中で美しい花を咲かせるハスに例えました。スピーチはIINの通常例会としては初めて日本語で行われました。



ベトナム北部、ユネスコ世界自然遺産のハロン湾近くの出身。ハノイ大学在学中。花、旅行、水泳が好き。日本語と日本文化を学ぶため阪大で勉強中。

なぜ日本へ

日本留学を決めた理由は、「小学校から高校まで長い年月、勉強を続けた割にはあまり英語が上達しなかったこと。また、最近、ベトナムへの日系企業の進出が目立つこと」などから。

ベトナムでも英語の授業は文法重視で、会話の授業はなく、先生たちの発音にも個性があった、という。

日本語に興味を持ってからは、「英語での失敗を絶対、繰り返さないぞ！」と3年ほど懸命に勉強。「百聞は一見にしかず」と、日本を体験することにし、阪大の日本文化研修留学プログラムに応募・合格、昨年9月に来日しました。10か月足らずの間に、IINでの交流活動にも積極的に参加してきました。

「私と日本との間には何か、特別な縁があるのでは、と思います」と白い歯を見せました。

すばらしい日本の自然

もともと、花や樹木が好き。日本を紹介した写真などを見て、四季の美しさに惹かれ

ピンさんが「こんなに美しい花はない」という日本の桜



ていた。来日後、春になると福岡、大阪城公園、大阪造幣局などの桜を撮影。その写真をこの日、スライドで示しながら「直接、自分の眼で桜を

見た時、こんなに美しい花は他には無いと思いました。桜並木の下を歩いていると、天国にいるような感じだった」という。

オランダのチューリップ畑なども美しいが、人々はそれを見て楽しむだけ。しかし、日本人は桜の下で食べたり、飲んだり、話したり、歌ったり…。「こういう楽しみ方をする国民は世界でも珍しいと思います」と感心する。

秋の紅葉も黄色一色に染まるカナダなどと違って、ピンさんが住む箕面のモミジは黄、オレンジ、赤とバラエティに富み、「初めて目の前で見た時はとても鮮烈でした」。

また、モミジのてんぷら、モミジ饅頭を食べるのも日本的な楽しみ方だ、と興味を示しています。

カナダの紅葉(左)と箕面の紅葉



乗り物について

日本のモノづくりの技術は世界的に有名ですが、やはり、電車、地下鉄などが時刻表通り正確なことに驚いた、という。バイクが中心のベトナムと違って、京都や神戸など近郊に住む人が大阪で働くなどしているから時間通りに来ることが大切なのだろう、とピンさんはみえています。



ピンさんが「理解できない」という日本のバス

しかし、「電車などはコンピュータ制御によるから正確に運行できるのは理解できますが、バスは運転手が一人で運転しているのにほと

んど、時間通り到着する。これは未だに私には理解できない疑問です」という。しかもベトナムのバスと違って車掌がおらず、運転手が料金の受け取り、次のバス停の案内までしている、と感心しています。



食べ物

ビンさんによると、日本は果物はそれほど豊富ではない。スーパーなどでは輸出品が多く、値段も高いと聞いている、という。しかし、ベトナムでは野菜も含めて多種大量だから一個とかワンパックで買うのではなく、キロ単位で買う。

「そこで、日本へ来てから果物と野菜の量は少し減らしました。でも、米が良質だから困りません」という。

魚介類は日本では、海で捕ったその日のうちにスーパーなどに並ぶ。「だから、本来のおいしさを楽しめます。が、私は生ものが少し苦手なので寿司、刺身はめったに食べません。ただ、空揚げは大好きで週に1度は食べないと我慢できません」。

ビンさんはスピーチの最後に

「日本での生活を体験したおかげで、日本と自分について考え、理解をより深めることができ、私自身も成長してきたのではないかと、思っています。一生の大事な時を過ごさせてもらっていると思います」と謙虚に話していました。

9月にベトナムに帰り、来春に卒業予定だが「いつかまた、日本に戻りたい」、「日本語の通訳や翻訳の仕事にたずさわりたい」と将来の夢を語りました。

この後、ビンさんに対する質問と答え、コメントがありました。いくつかを拾うとー

Q&A

ー日本の小説は読んでいますか。好きな作家は？

「多くの日本人が好きな夏目漱石について勉強しました。「吾輩は猫である」は猫を通して日本の社会を映し出しています。まじめに書齋で勉強や研究をしているように見える作家が実は、そんなにまじめでも立派でもないさまを描いています。大変、日本的な描写の仕方だと思いました」。

ー俳句は

「俳句はベトナムの高校でも取り上げられていました。有名な句がベトナム語に訳されており、少し学びましたが、むずかしかった」。

ーベトナム戦争はあまりに悲惨で、日本人の私にもその記憶が深くしみついているが、若いビンさんが前向きな考え方を示してくれてうれしい。

「過去の戦争の記憶にばかり捕らわれていると、前向きに生きられない。ベトナムの若者は戦争が起きないように気をつけながら、将来の希望に向かって努力することが大切だと考えていると思います。戦争を生き抜いたおじいちゃんは私に「ビン」という名前をつけてくれました。これは平和という意味です」。

「ベトナムではハス（蓮）の花が国のシンボルになっています。なぜだかご存知ですか？ ハスは汚い泥の中で育つのに、美しい花を咲かせます。その花には泥の匂いはありません。ベトナムは中国、フランス、アメリカとつらい戦争を経験しましたが、どんなに厳しい環境にあっても、明るい未来に向かって前向きに生き、美しい花を咲かせるのだ、ということを意味しています。ハスの花の生き方がベトナム人の生き方だと思います」。



美しく強いハスはベトナム人の象徴という

ーベトナム人にはグエンという苗字が多いが？

「過去の王朝の名前からきています。その時代、地域に生きてきた人が苗字につけています」。

ー日本人について嫌だと思ふことはありませんか。言いにくいかもしれませんが、我々の反省のために。

「マスクの使い方ですね。ベトナムではマスクを着けたまま話すのは良くないことと考えられています。排気ガスを避けるためバイク通勤中に着用している人もありますが、職場や学校につくと皆、外します。日本ではマスクの人が多いうえ、口の開け方が小さいなどで聞き取りにくいことがあります。目など顔の特長を活かすために着用する人もあると聞いています」。